

緑の相談所だより

No.128

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 電話 0166-65-5553

発行：平成 23 年 2 月 1 日

講習会のご案内

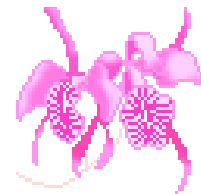
「果樹の剪定と春の管理」 -リンゴ、プラム、サクランボ他-

とき 平成 23 年 2 月 20 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 ふじくらますも果樹園
代表 増茂 聡さん



「洋ラン！」 -春から夏の育て方-

とき 平成 23 年 2 月 27 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 旭川蘭友会
顧問 笠原 幸三さん



「春作業」 -花と野菜の種まき-

とき 平成 23 年 3 月 13 日(日)
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 緑の相談所 相談員



展示会のご案内

「神楽岡公園の動物写真展」

出展：井原 久夫さん
2 月 5 日(土)~27 日(日)



「温室の植物写真展」

出展：道新文化センター写真スクール
3 月 5 日(土)~27 日(日)

☆ ~ お 知 ら せ ~ ☆

4 月~10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。

11 月~3 月は毎週月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

※各講習会のお申込み受付は前月の 20 日から、定員になり次第締切です。

お申込み・お問合せは



(0166) 65-5553

Fax: 65-5626

2 月の園芸作業

1 鉢花・観葉植物

クンシランの花茎が認められると15～20℃の部屋に置き、水も与え花茎を伸ばします。この時夜間照明の当たらない所で管理しましょう。照明時間が長いと花茎が伸長しないで、葉の間で開花する原因となります。

シクラメンの花を、より長く楽しむには、日中20℃以上の高温と水不足に注意し、体力維持のため液肥の施用も続けましょう。まだまだ咲き続けます。

ポインセチアも長く楽しむためには、室温は20～25℃（夜間15～17℃）の日当たりの良い所で、薄い液肥の施用、水管理に注意しましょう。

休眠させていたアマリリスの球根は、開花予定の35～45日前位に植え替えを行いましょう。新しい通気性の良い用土と、球根直径の2倍サイズの鉢に、球根の首が出るくらいの浅植えにしましょう。

春植球根の点検をして見ましょう。貯蔵中の球根（ダリア、カラー、グラジオラス等）が早期の芽の伸長、凍害、乾燥、カビなどによる腐敗等で使用できなくなることがあります。容器の中の貯蔵状態の確認を試みましょう。

日差しが徐々に強くなってくるので、晴天時の窓際は温度の上昇で、鉢花・観葉植物とも、葉焼けや落蕾などの原因となるので要注意です。また極端な低温となる事もあるので注意しましょう。

2 洋ラン類

シンビジウムの蕾の肥大は15℃内外が適温で、空中湿度が高いと順調です。

高温乾燥は蕾の肥大が止まり、黄変して落ちてしまう事があるので注意しましょう。

コチョウランも蕾が出てから、置き場所の移動や、温風に当てたりすると黄変するので注意しましょう。

3 月の園芸作業

1 鉢花・観葉植物

ゼラニウム、カランコエ、ハイビスカス等は切り戻し剪定を行い、新芽を発生させて草姿を整え花付きを良くする様にしましょう。

観葉植物も日当たりの良い場所に置かれているものは、新葉の展開も目立ってきます。生育に合わせ灌水・施肥の回数も増やしましょう。

葉がベトつき、光るようになるとカイガラムシ等が繁殖しています。植物に傷をつけないよう歯ブラシや布等で拭き取りましょう。

花壇用草花（ベゴニア、ペチュニア、コリウス、マリーゴールド等）の育苗も中・下旬頃より開始します。ピートバンを用いて播種し、ポリ鉢またはプラグトレーへ移植して50～60日間の育苗となります。

2 果樹類

3月に入ると寒さも和らぎ、凍害の恐れも少なくなりナシ、リンゴ、オウトウ、スモモ等の剪定時期となります（ブドウは秋実施）。

樹の大きさを制限し着果を良くし、摘果・収穫等の作業をしやすくし、品質の良い果実を安定して収穫するため大切な作業です。

3 洋ラン類

シンビジウムの植え替え、株分けは2～3週間位花を楽しんだ後、新芽が成長期に入る直前頃行いましょう。

カトレアの植え替えは、株の成長が始まる頃行います。窓辺のレースのカーテン越しに鉢を置きましょう。

コチョウランは、20℃以上の温度が保たれていると生長を続けているので何時、植え替えしても良いが一般的には春から初夏に行ないます。

ハルニレ（春榆） 別名 ニレ・英名 エルム

ニレ科 ニレ属

ハルニレは寒地性で東北や北海道に多く、春に花が咲き、その壮大・重厚な樹形から公園樹・街路樹として用いられています。札幌の「エルムの学園・北大」に立派なニレが多いのは、外国教師たちが学校開設時に、故郷の北米と共通の「ニレ」を惜しみ「大事に残せ」とすすめたためと伝えられています。

エルムの語源はケルト語からきたと言われ、スカンジナビアの神話では最高神オーディンが樹を人間に変え、その一本がニレで、それは女性になりました。女性の名前をエンブラとしましたが、これがエルムになったそうです。



ハルニレ

ユーカラに語り伝えられるニレも女神であり、ハルニレ姫は天上の神々が見とれるほど美しかったため、雷神が足を滑らせてハルニレ姫の上に落ちてしまいました。このため、姫は身ごもり、男の子アイヌラックルを生みました。アイヌの人達はこの木を擦って火を得ていました。ハルニレは神様の位で最高の「火の神」として敬われています。

緑の相談 QアンドA (3)

ブーゲンビレアの伸びたつるの処理と毎年花を咲かせるには、どのように管理したらよいですか？

ブーゲンビレアは冬から春にかけて咲く短日植物（1日の日照時間がある程度短いと花芽を作る植物のこと）です。

《置き場所》光を好むので、1日5時間くらい日光がよく当たる場所に置きましょう。

《植え替え》根づまりしやすいので2年に1回、花が終わってすぐに伸びている枝は切り戻し、枝もそれぞれ付け根から2～3節残し切って植え替えましょう。

花が咲きにくい場合、今の鉢より一回り小さい鉢に植え替えましょう。9月末には元の鉢に根鉢を崩さずに戻しましょう。

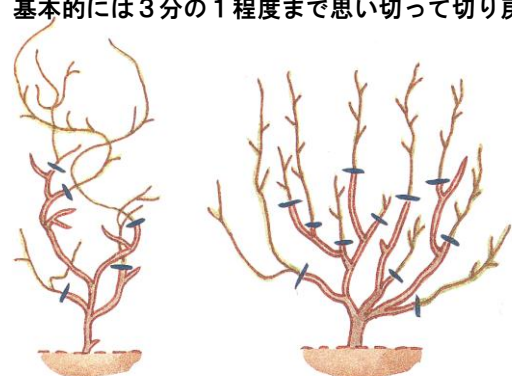
《かん水》新芽が2～3cm伸びたら、新芽がしおれるのをまって水をたっぷり与えましょう。夏の戸外では夕立や長雨に当ててはいけません。

秋に花芽が見えてきたら水の量を増しましょう。1～2月に花が終わって新芽が動き始めたらしおれるのを待って乾いたら水やりしましょう。これを繰り返すと、花を咲かすことが出来ます。

《肥料》肥料を与える時は薄い液肥程度で、油かすなどの固形肥料は与えません。

《剪定》時期～開花が終わって間もなく

基本的には3分の1程度まで思い切って切り戻す。



つる(あんどん)仕立ての場合

株立ち仕立ての場合

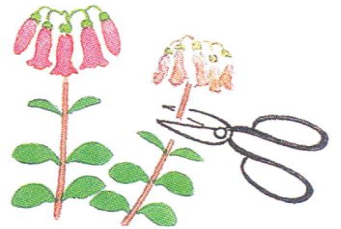
カランコエの管理 ー日照時間を調整すれば一年中楽しめるー

年中園芸店に出回っているブロッサフェルディアナ系という品種が元祖で、マダガスカル島の北部の山中で1920年に発見されました。発見されてから90年、特にここ20年くらいの間にすさまじい勢いで品種改良が進み、花色の多様化と花の大型化が実現しました。八重咲き種やベル咲き種が人気です。世界で最も多く栽培されている花の一つと言われています。

ー 来年も花を咲かせるにはー

花言葉は「幸福を告げる」「ときめき」

- ・ 冬季の鉢花として1月～3月に出回りますが、先ず、株の締まったもので、枯葉や花がらのついていないものを選びましょう。
- ・ あまり暖房の効いていない室内で15～17℃程度を保つと花色も良く、花も長持ちします。
- ・ この時期の肥料はいりません。鉢土が乾いてから2、3日置いて、タップリ水を与えます。(乾かし気味、乾燥で枯死しない)
- ・ 花が終わった株は花茎ごと切り取ります。(3月頃)
- ・ 8月下旬までに切り戻し(強剪定)、植替えを行い株のリフレッシュを計りましょう。
- ・ 夜は電気の光が当たらないところで管理します。(ここがコツ)
- ・ 9月下旬～10月上旬までは凍らないように注意しながら、寒さにあわせることが重要で、このことで花色が一段と鮮やかになります。(これで12月から3月まで開花です)
- ・ ベル咲き種は夜間10℃くらいの低温と1日の日照時間が8時間くらいの2条件が揃うことで、良く花芽がつくといわれています。(旭川の秋は、この条件にぴったりです)



夜は光が当たらないところで管理



展示室の植物たち (35)

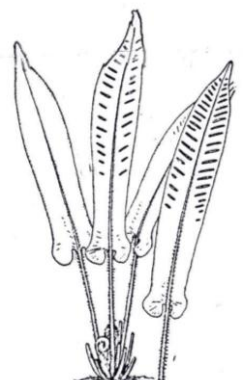
オオタニワタリ

チャセンシダ科 チャセンシダ(アスプレニウム)属

この属は熱帯を中心に世界に約700種あるといわれています。日本の南部や台湾に多く分布し、常緑種で塊状となり、葉は単葉で短い葉柄で放射状につながっています。主に山地の樹木や岩の上に着生し生育しています。南方の沖縄では観光地の景観として人気があります。

当温室のオオタニワタリは開所以来から地植えされ、温室にすっかり適応して大きな葉を広げています。

同じ仲間でコタニワタリという種は、北方では多く見られ、ここ神楽岡公園にも自生しています。春になったら、公園内で探してみてください。



コタニワタリ